



検討会の委員の皆さん

氏 名	団体名等
渡 辺 史 郎	学識経験者（座長）
井 出 忠 臣	学識経験者（副座長）
田 中 雄 樹	東小学校PTA
大 塚 禎 三	坂の上小学校PTA
尾 芦 拓 未	野岸小学校PTA
小 林 千 種	水明小学校PTA
笹 沢 文 男	千曲小学校PTA
山 口 傑	美南ガ丘小学校PTA
福 田 優	小諸東中学校PTA
市 川 富士夫	芦原中学校PTA
小 林 佳菜恵	中央保育園保護者会
山 浦 和 茂	小諸市区長会
新 井 良 男	公募
大 池 実 佳	公募
富 岡 淳	公募
小 林 昭 寛	水明小学校長
黒 沢 敏 範	芦原中学校長

順不同・敬称略 平成29年4月現在

第4回検討会は、4月21日に開催しました。
 ＊検討会の詳しい状況は、学校教育課窓口と市ホームページでご覧になれます。
 ＊今後も、検討会の状況を広報こもろで随時お知らせしていきます。

「検討会」は、毎月1回のペースで、
精力的に議論を進めています。

第1回検討会（1月30日開催）

正・副座長の選出のほか、学校施設の現状、児童・生徒数の今後の見込み、市の財政状況など今後の検討で必要となる基礎的なデータの確認・共有、今後の会議の進め方についての意見交換などを行いました。

今後の検討では、子どもたちにとって、より望ましい学校の姿とはどうあるべきなのかという視点を中心に据えていくことなどが確認されました。

主な意見

- ・人口の推移、財政の厳しさなどを改めて認識した。
- ・将来の小諸市を支える子どもたちを育てるためには、何が必要なのか、委員同士で勉強しながら検討していくことが必要。など

第2回検討会（2月21日開催）

各委員から、今後の検討に対する考え方などを述べていただきました。

その後、井出副座長から今後の教育の動向について、また、小林委員（水明小学校長）からは、現役の小学校長の立場から、平成初期と現在の学校教育の状況の違いについて説明がありました。

主な意見

- ・児童・生徒数の推移を踏まえ、通学区の見直しも検討したい。
- ・学校は、学習環境や設備などがより充実した場所であって欲しい。
- ・検討状況を市民に知らせていくことが大事。など

第3回検討会（3月28日開催）

児童・生徒数の減少を踏まえながら、子どもたちにとって望ましい「学校規模」などについて、「ワークショップ形式」で意見交換を行いました。

主な意見

【学校の規模が小さい（児童・生徒数が少ない）と…】

- ・個々の子どもに目が行き届きやすくなる。
- ・行事や学習等、個々の子どもが活躍する場が多くなる。
- ・人間関係が固定化してしまう心配がある。
- ・教員数が少なく、一人の教員が多くの役割を担うことになり、負担が大きくなる。

【学校の規模が大きい（児童・生徒数が多い）と…】

- ・多様な人間関係の中で、多くの経験が得られる。
- ・学校行事や部活動などに活気がでる。
- ・同学年でも顔や名前を知らないなど、人間関係が希薄になる場合がある。
- ・学校施設の使用が制約される。 など